

## ニカラグア定期報告（2017年1月）

2017年2月  
在ニカラグア日本大使館

### 【要旨】

内政・外交面では、新国会における執行委員会メンバーが選出、ニカラグア大統領就任式が開催、新閣僚等が選出された他、選挙プロセスに関するOASとの共同報告書が公表された。経済面では、蔡英文總統が当国経済関係者と交流、企業視察を行った他、両大洋間運河建設計画の開始時期が改めて報じられた。

### 【主な出来事】

#### 1 新国会における執行委員会メンバーの選出

9日、新国会における執行委員会メンバー（任期2017-19年）が選出され、議長にグスタボ・ポラス議員（FSLN）、第一副議長にマリツァ・エスピナレス議員（FSLN）、第二副議長にグラディス・バエス議員（FSLN）、第三副議長にマリア・アイデ・オスーナ議員（PLC）、第一書記にロリア・ディクソン議員（FSLN）、第二書記にウィルフレド・ナバロ議員（FSLN）、第三書記にアレハンドロ・メヒア・フェレティ議員（ALN）が、それぞれ就任した。

#### 2 ニカラグア大統領就任式

10日、マナグア市内の革命広場にてオルテガ大統領の就任式が開催された。オルテガ大統領とムリージョ新副大統領が宣誓、就任証書に署名した他、オルテガ大統領が就任演説を行い、ムリージョ新副大統領も短い演説を行った。

外国からは、マドゥーロ・ベネズエラ大統領、モラレス・ボリビア大統領、サンチェス・セレン・エルサルバドル大統領、エルナンデス・ホンジュラス大統領、蔡英文總統、ディアス・カネル・キューバ国家評議会第一副議長、カブレラ・グアテマラ副大統領、崔竜海北朝鮮国務委員会副委員長等が出席した。

#### 3 新閣僚等の選出

16日付官報に、オルテガ新政権における閣僚等の人事が公表された。ハレスレーベンス前副大統領が特定問題担当大統領顧問に、デニス・モンカダ前外交問題大統領顧問が外務大臣に、サムエル・サントス前外務大臣が外交問題大統領顧問に、マリア・アメリカ・コロネル氏が内務大臣に、それぞれ就任した。その他の閣僚は留任した。

#### 4 選挙プロセスに関するOASとの共同報告書の公表

(1) 20日、ニカラグア政府及びOAS事務局は、選挙プロセスに関する共同報告書を

発表した（以下概要）。

ア OAS事務局及びニカラグア政府は各国家権力の行動規範・手続きの決定、党籍変更に関する憲法規定の適用を法的に強化するメカニズム及び規範につき検討し、各権力の独立と調和的連携の法的・制度的安定を深化させ、選挙人及び当選者の権利を確保することで合意。

イ 本年の地方選挙に係るプロセスに関し、OAS事務局は選挙プロセスへの同僚の枠組みの中で、選挙プロセスと機構強化のため地方選挙をフォローアップする。

ウ フォローアップ作業を本1月から開始し、両代表団は2月28日までに今後実行する共同作業に関する覚書に署名する。右覚書において、作業を実施するための3年の期間を定めるとともに、①地方選挙フォローアップ、②代表民主制システムとそれを法的に強化するメカニズム構築プロセスの継続、③各国家権力の行動規範・手続きを決定し、党籍変更に関する憲法規定の適用を法的に強化するメカニズム及び規範の検討、④選挙人名簿の精査プロセスにおけるOASの技術的支援に関して実施する具体的課題を詳述する。

エ OASは、合意された事項の実施に関し、国際協力を得るための必要な調整を行う。

#### （2）共同報告書に対する各界の反応

ア ラングランド元野党PLI議員は「OASと政府の共同報告書は、オルテガ大統領の当国の民主主義制度の悪用及び違反に関して一切言及していない。国民を代表する28議員の違法な議員資格の剥奪、野党勢力からの排除に対する怒り、選挙不正、70%近い棄権があったにも関わらず、オルテガ政権はOASから不問に付されることに成功した。報告書はオルテガ・ファミリーという帝国の強化のために2007年から計画されてきた国家機構の解体という事実を無視している。」と述べた。

イ アグリ民間企業最高審議会（COSEP）会長は、「10年間、選挙制度を強化すべく計画されてきており、今、その可能性を手に入れている」と述べ、共同報告書の発表に祝意を表すとともに、同報告書はOASが政界のいかなるアクターとも協議が出来る様開かれたものとなっており、今次合意は重要であるとした。

ウ ドグ当地米大使は「ニカラグアにとって、政府とOASがニカラグアにおける民主主義の拡充のため協働することは重要である。最も重要なのはニカラグア国民にその（民主主義）システムが受け入れられることである。」と述べた。

#### 5 蔡総統の当国台湾企業視察及び企業家との懇談

10日、オルテガ大統領就任式典のため当国を訪問した蔡台湾総統は、同行している企業家等と共に台湾出資のフリーゾーン企業（縫製工場）を視察した。同総統の視察に同伴したバルトダノ・ニカラグア投資振興機構（PRONicaragua）代表（閣僚級）は、「蔡総統は、二国間交流を促進すると約束した。当国フリーゾーンへの台湾の投資は約7千人の雇用を生んでいる」と述べ、台湾は製造業だけでなく、観光、農産加工、デジタルサービス分野にも関心がある旨言及した。また、同日、蔡総統は同行の企業家グループ

と共に、二国間の通商関係拡大等のため、当国の台湾企業代表及び当国企業家等数十名と懇談した。同総統は、台湾はより多くのニカラグア農産品の輸入に関心がある旨述べ、「二国間貿易は近年急速に増加した。二国間 F T A は貿易・ビジネスの進展に利益をもたらすだけでなく、広く二国間関係強化に資する」と述べた。ニカラグアの対台湾輸出は F T A が締結された 2 0 0 6 年の 8 6 0 万ドルから、2 0 1 6 年には 9, 0 0 0 万ドルに増加した。

## 6 両大洋間運河の建設開始時期

25日、HKND社はAcana-EFEへの電子メールにおいて、2017年上半期にニカラグア両大洋間運河建設の第一期工事となるブリトー港の建設を開始すると述べた。同社は2016年末頃までに工事開始を計画していたが、環境社会影響評価を完了させるため等により遅れが生じた。同社によると、地形に係る新たな発見から港の再設計を余儀なくされたことも遅延の一因となった。同社は「現在予定している港は元のデザイン・コンセプトよりも大きい。」と述べ、港のデザイン変更は本質的なものではないものの運河ルートに影響したとする。同社はまた、地質学的問題を回避するため、ブリトーの閘門の設置をブリトー港からより遠い位置に変更するとし、「当初から、閘門は可能な限り適切な場所に設置すると約束しており、閘門設置位置の変更により計画が遅れるとしても、より利益あるプロジェクトとするため必ず実施する」と述べた。

### <主要経済指標>

	2017年	2016年		2016年	2015年
	1月	12月	11月		
インフレ率(前年同月比)	3.9%	4.5%	3.3%	3.2%	5.4%
貿易収支(百万ドル)	未発表	△296.7	△352.1	△3,227.6	△3,012.5
輸出 FOB(百万ドル)	未発表	169.7	143.6	2,226.4	2,421.7
輸入 FOB(百万ドル)	未発表	466.4	495.7	5,453.9	5,434.2
海外送金(百万ドル)	未発表	130.1	104.3	1,264.1	1,193.4
外貨準備高(百万ドル)	2,459.8	2,447.8	2,360.4	2,447.8	2,492.3

(出典：ニカラグア中央銀行)